

## 第 10 回農作物病虫害防除フォーラム開催要領

### 1 開催趣旨

昨年の 12 月に農林水産省は、「農林水産環境政策の基本方針—環境保全を重視する農林水産業への移行—」を発表した。この方針において、環境保全を重視する農業を推進するため、適切な肥料、農薬の使用等による環境負荷の低減とたい肥を利用した土作りによる物質循環を推進する指針を策定することとされ、病虫害防除においては、総合的病虫害管理（Integrated Pest Management 以下「IPM」という。）の普及を促進する方向が打ち出されたところである。

今回のフォーラムでは、この農林水産省の施策において重要な位置を占め、今後、生産現場において普及を図る IPM をメインテーマに、研究、普及、実践それぞれの立場から IPM に取り組んでいる専門家の報告を踏まえ、その実態を相互に理解し、今後の IPM の取り組み方及び連携等に関して検討することとする。

### 2 開催日時

平成 16 年 6 月 7 日（月） 14：00～17：00

### 3 開催場所

農林水産省講堂（本館 7 階）

### 4 参集範囲

都道府県、地方農政局、独立行政法人、公益法人、農薬企業及び農業者団体

### 5 講演議題

- (1) 総合的病虫害管理（IPM）の現状と普及度測定法

独立行政法人農業生物資源研究所 平井 一男 氏

- (2) 総合的病虫害管理（IPM）の普及と課題について

埼玉県東松山農林振興センター 畠山 修一 氏

- (3) 黒斑病抵抗性清水白桃の作出と省力的総合防除法への利用

岡山県農業総合センター 井上 幸次 氏

- (4) 総合的病虫害管理（IPM）の実践について（野菜）

高知県安芸農業振興センター 榎本 哲也 氏

- (5) 総合討論